

学会ホームページ <http://jasce.jp>

032号(2016年5月20日)

11月6日(日)二日目

目次

全国大会

発表&参加申し込み日程
役員選挙のお知らせ
『協同と教育』への投稿募集中
学会ワークショップ開催報告
各地の研究会・勉強会
学会ワークショップ 今後の予定
出版情報

全国大会

発表&参加申し込み日程

第13回JASCE全国大会が、三重大学(三重県津市)で3日間にわたり開催されます。

大会の概要を以下のアドレスに掲載しています。多くの皆さまの参加をお待ちしています。

<http://www.jasce.jp/conf1301.php>

1. 大会日程

11月4日(金)プレ大会(午後)

三重大学教育学部附属中学校授業参観と意見交換会

11月5日(土)一日目

夕刻、情報交換会(学内)

2. 大会発表の受付

(1) 発表等募集期間

口頭発表(研究発表と実践報告)、ラウンドテーブル、ワークショップ

開始日 2016年5月20日(金)

締切日 2016年7月30日(土)

なお、非会員の方で新たに会員となり発表を申し込む場合、6月中に入会の手続きが完了している必要があります。

(2) 発表原稿等受付

開始日 2016年8月1日(月)

締切日 2016年9月2日(金)

3. 事前参加申込と参加費入金

受付開始日 2016年8月1日(土)

受付締切日 2016年10月7日(金)

(注)締切日に間に合わない場合は、大会当日、参加を受け付けますが、混雑を避けるためにできるだけ事前登録をお願いします。

4. 会場案内

会場は三重大学工学部の教室を
用います。

(大会実行委員長 中西良文)

役員選挙のお知らせ

本会では、理事(役員)の任期を3年とし、3年ごとに会員互選による役員選挙を行っています。今年は3年に1度の改選年にあたります。4月末現在で2015年度会費を納入した会員の皆様に、5月末から6月初旬にかけて選挙資料(被選挙人名簿など)を送付いたします。6月末日を投票締め切り日とします。7月以降、新役員選出、会長互選と進み、8月中には新たな役員体制が固まることとなります。新体制発足の正式なお披露日は、全国大会総会(11月)になりますが、役員体制は9月のニューズレターで速報したいと考えています。会員の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願い致します。

『協同と教育』への投稿募集中

『協同と教育』への投稿は随時受け付けておりますが、投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常、数ヶ月を要します。学会機関誌『協同と教育』第12号(2016年発行)に向けての積極的な投稿をお待ちしております。

熊本地震で被災された会員の皆様へ

4月14日以降、熊本県を中心に九州で継続して発生している地震について、被災された方々に心からお見舞い申し上げます。

震災の渦中では地域の避難拠点として、復興の過程では地域の宝である子どもたちの学び舎として、学校は常に希望の灯台であり続けます。そして、その灯台を守り、動かすのは私たちと同じ普通の先生方です。頼もしく、ありがたいことです。

熊本方面には、多くの協同教育の同志がおられます。全国の会員が皆様のご無事とご健康を祈り、願っております。課題が困難さを増すほど、協同の真価は発揮されます。どうかお気持ちを強くお持ちください。一刻も早い復興を心よりお祈りいたします。
(会長 関田一彦)

JASCE

学会ワークショップ開催報告

◆ベーシック

2016年3月12日(土)～13日(日)

場所:別府市男女協同参画センター「あす・べっぷ」2階研修室(別府市) 講師:秦 喜美恵・安永 悟
参加者:32名(南は沖縄、北は埼玉からの参加)

昨年同様、医療看護領域から20名(63%)と、多くの参加がありました。18機関(小学校1、中学校1、専門学校4、高等専修学校1、大学11)中、次の7機関からは複数の参加がありました。協同学習を組織的に取り入れている大川看護福祉専門学校からは7名、早稲田大学大学院教職研究科3名、中部大学3名、大阪労災看護専門学校2名、北九州小倉看護専門学校2名、熊本保健科学大学2名、名桜大学2名の参加です。今回、早稲田大学大学院生3名と広島大学大学院生1名の参加があったことは、これから教育に携わる人たちにも協同学習への関心が高まってきていることを示しています。

今回のワークショップでは、スーパーバイザーである安永先生に技法の実践後に、適宜重要ポイントや補足説明をしていただいたことで、参加者は学習者として技法を学ぶと同時に実践する側の視点からも様々な気づきを得ることができました。休み時間やお昼の時間も参加者同士の交流は大変活発で、ワークショップの体験を通

しての気づきや疑問などが話題に上がり、お互いに学び合う場が出来上がっていました。

参加者の皆さんからは、「協同学習について、基礎基本から教えていただけるこのワークショップは、自分にとっての人生の考え方や価値観にも関係するような重大な経験です」、「技法だけでなく、根底にある協同教育の精神を持って授業を行うということに具体的レベルではとても難しくどうしても技法に頼ってしまいがちですが、今日は少し修正することができたと思います」、「技法を中心に考え過ぎ、目的・目標が不明確なまま行っていたことが、できない、やらない学生を生み出していたんだと振り返ることができました」、「職種は異なっても共通の悩みなどもあり、グループ活動を通して、疑問の解決や新たな視点や考えの発展に繋がりととても有意義な時間でした」、「18、19才に『できる』を期待するのではなく『できる』人を育てたいと思います。集団スキルの促進のために指導することが当然と分かりました」などの感想をいただきました。

リピーターの方々には5名で、3回目の方もいらっしゃいました。リピーターの方からは、「2度目のベーシックですが、同じテキストを見ても自分の状況やレベル、関心のあり様によって『深くは本当に分かっていなかった』ということに「気づく2日間だった」との感想があり、協同学習の奥の深さを改めて知る思いでした。今回の学びが実践に活かされることを願っています。(秦)

◆ベーシック

2016年3月20日(日)～21日(月)

創価大学 教育学部棟(八王子市) 講師:太田昌宏

今回のワークショップには、校種を越えて多様な背景をもつ参加者(31名)が集まりました。二日間を通して、教室は明るく自由な雰囲気に包まれていましたが、参加者の表情は真剣そのものでした。講師として、一人ひとりが問題意識を明確にもって参加していると感じました。一日目から、休み時間でも席を立たず、参加者どうしが教育について話し込む姿に、私自身も触発を受けました。参加者の皆さんと協同して、充実した学びの場を創作できたことをうれしく思います。(太田)

◆アドバンス

2016年3月20日(日)～21日(月)

創価大学 教育学部棟4階 B405教室 講師:伏野久美子

今回のワークショップは私が講師を務めた中で最大の参加者、20名の方が参加されました。ベーシックを終えて間もない方、実践をして質問いっぱいの方、経験豊かなリピーターの方など、多様な参加者でした。より複雑な技法、協同の大切な考え方、協調のスキルなど、様々なことを活発にかつ和やかに議論し、互いの協同学習・協同教育の理解を深め、発展させました。自分の教育現場でどのように実践していくかも語り合い、2日目終了間際にはみなさん頭がくたくたになるくらい、刺激が多く深い学びを楽しみました。参加者の皆さん、本当にありがとうございました。また、ベーシックを受講された皆さん、実践を積んで、たくさん質問を持って、今度はアドバンスに挑戦してくださいね。(伏野)



JASCE

各地の研究会・勉強会

(東京・関東地域)

協同教育カフェ in 八王子

3月30日(水)13:30から、創価大学教育学部棟B303教室で開催しました。プロジェクトアドベンチャー(PA)の実践家によるアイスブレイクから始まり、多重知能(MI)に配慮した協同学習の報告、世界の協同学習の紹介、といった多彩で刺激的な内容に、あっという間の3時間半でした。次回は6月4日(土)13時半からの予定です。

連絡先: 関田一彦

(sekita@soka.ac.jp)

(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇4月例会の報告

4月臨時例会を4月25日(月)18:30~20:30、会場は名古屋大学教育学部E演習室で開催しました。CBTE研究・学習会の第4回研究会と合同で開催しました。

CBTEはCommunity Based Teacher Educationの略で、地域のなかで育つ教師の学びを研究する会です。

今回のテーマは「地域所属を超えた教師間ネットワークによる学び合い」で、水野正朗(名古屋市立桜台高等学校)が問題提起をし、現場の授業改革とアクティブラーニングの動向を分析しながら、所属を越えた教師同士の学び合いの意義と課題・可能性について議論しました。

連絡先: 水野正朗

(mizunokita@yahoo.co.jp)

(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇今後の開催予定

2016年度の開催は、①5/27、②7/22、③9/30、④11/25、⑤1/27、⑥3/24に決定しました。会場は、グランフロント大阪北館2階ナレッジキャピタル「The Lab」アクティブスタジオです。みなさまのご参加をお待ちしています。

連絡先: 緒方巧(梅花女子大学

t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇平成28年度の開催日程が決定しました。第1回:7月16日/第2回:9月3日/第3回:12月3日/第4回:平成29年3月4日(いずれも土曜日の14時~17時30分です)

会場:岡山大学教師教育開発センター東山ランチ(<https://cted.okayama-u.ac.jp/access/higashiyama/>)

参加希望の方は事前に高旗までメールでご照会ください。開催日の1ヶ月前を目処にご案内を差し上げます。詳細は学会HPの「各地の勉強会」(<https://jasce.jp/1082schedule.php>)をご覧ください。連絡先:高旗浩志(岡山大学教師教育開発センター)

E-Mail :takahata@okayama-u.ac.jp

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇5月研究会の報告

5月研究会を5月7日(土)、13時から久留米大学御井キャンパス・学生会館ミーティング=ルーム3で開催しました。年度はじめなので「協同学習の基本的な考え方と技法」を学ぶ機会を設けました。その後、平上久美子先生(名桜大学・久留米大学心理学研究科博士課程)による研究報告「精神看護学実習における実習指導者の学習支援の構造をうけて、臨地実習に関わる学生、患者、指導者、教員といった関係者の相互作用の質と有効性をさらに高める授業のあり方や協同の仕方について検討しました。

◇今後の開催予定

2016年の開催予定は次の通りです。9月24日(土)、11月26日(土)は午後1時~午後5時。7月23日(土)は協同教育フェスタで午前10時~午後5時。会場は久留米大学御井キャンパスです。各イベントの参加申込みは安永悟研究室のHPからお願いします。

(<http://yasunaga.me/wiki.cgi>)

連絡先: 安永悟

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)

JASCE

学会ワークショップ 今後の予定 (5月現在確定分)

● ベーシック

5月28日(土)～29日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

名古屋キャンパス0号館 0608 教室

講師:水谷茂・杉江修治

7月30日(土)～31日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)

教育学部棟4階 受付B405 教室

講師:水野正朗

8月27日(土)～28日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)

人間関係研究センター D 棟

講師:長濱文与・石田裕久

9月17日(土)～18日(日)【主催】

会場:じばさん三重(四日市市)

5階研修室5

講師:水野正朗

● アドバンス

7月30日(土)～31日(日)【主催】

会場:創価大学(八王子市)

教育学部棟4階 受付B405 教室

講師:久保田秀明

11月12日(土)～13日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)

人間関係研究センター D 棟

講師:関田一彦・石田裕久

● 一日研修

11月27日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

名古屋キャンパス5号館0522 教室

講師:水谷茂

12月11日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)

名古屋キャンパス0号館 0604 教室

講師:有本高尉・水谷茂

※協同学習の考え方と技法を学ぶことは、アクティブラーニング型授業の実現や改善に大きく寄与することでしょう。「一日研修」(名古屋市)と「ベーシック」(四日市市)の開催情報を追加しました。三重県での「ベーシック」は初の開催です。どのワークショップも会員以外の方も申し込みます。なお、定員になり次第、受付を終了します。お申込み方法、ならびにワークショップの詳細は下記 URL をご覧ください。

(<https://jasce.jp/>

[1031workshop.php](https://jasce.jp/1031workshop.php))

出版情報

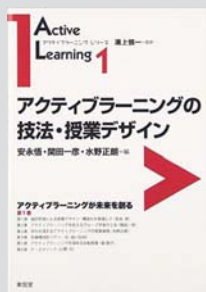
● 看護学生の主体性を育む協同学習

全国の看護教員の方々が、「協同学習」に興味を持ち、授業に活用してみようきっかけづくりに役立てていただきたい本です。緒方巧著。医学書院。



● アクティブラーニングの技法・授業デザイン (アクティブラーニング・シリーズ1)

理に適ったアクティブラーニングのガイドブックを教育関係者に届けたい(巻頭言)という、AL7巻シリーズの冒頭巻。学習者同士の生産的な関わり合い(相互作用)と、その相互作用を規定する活動や課題の構造を協同学習という理論的視座から検討しています。安永悟・関田一彦・水野正朗編。東信堂。



● 高等学校におけるアクティブラーニング 事例編 (アクティブラーニング・シリーズ5)

数学、国語、英語、地理・歴史、物理、家庭、英語など高等学校の多くの教科におけるアクティブラーニングの授業実践例を、背景となる理論とともに紹介しています。溝上慎一編、石山信幸(第1章)、水野正朗(第3章)、鈴木映司(第5章)など9名が執筆。東信堂。

